

宇田川住宅建替計画 設計主旨 (2014.9.8)

- 宇田川住宅は、渋谷・公園通りに面し、昭和 36 年に竣工した店舗・事務所（1 階～3 階）兼集合住宅（16 戸）であった。竣工後、このエリアは渋谷パークを始め比類なき商業集積がなされたエリアである。
- このプロジェクトに参加したのは 5 年程前になるが、計画にあたっては、商業施設と集合住宅との機能的整合性を持たせつつ、商業施設は、公園通り沿の他の商業施設に埋もれない、"品格"のある商業空間を試みた。（特に 1 階は、既店舗のコンビニの再入店が条件としてあったため、店舗は混在した業種が入らざるを得ない状況であった。）
集合住宅においては、公園通りの喧噪感から隔離したアプローチ計画、都市居住として多種多様の空間利用を包み込むプラン・共用空間の試行錯誤を行った。



外観（東）



外観（南東）

- 外観計画は、店舗階（1 階～3 階）と住宅階（4 階～12 階）を分節しながらも、店舗階は大壁で端部を押さえ建物基壇部として安定感を持たせている。各階に異なる店舗が入っても雑居感を払拭するため店舗としての統一性を持たせ全体をカーテンウォールとし、店舗階の頂部はクラウンとして化粧笠木を設けた。
住宅階については、マリオンや袖壁等により、垂直方向に分節しながらもバルコニー腰壁上端水平方向については、下端にリブ形状のフィンを設ける事により様式性の表情を付加した。



外観（南東・店舗アプローチ）



外観（南東・近景）